

編集後記

一九〇号をお届けします。

今号には、三重野勝人氏の論説「西南戦争と大分県」、

長谷川富美子氏の史料紹介「稲葉雅通「入邦記」、および前号に続いて日隈亨氏の「天瀬町・山田家文書

「御用談記」について」(下)の三本を掲載することができました。西南戦争については、近年若手研究者の間でも戦場跡や遺物などを記録し、実証的に見直すという動きが高まっています。まさに時宜を得たものと言えましょう。長谷川氏の「稲葉雅通「入邦記」」は氏がまえがきで述べておられるように、大分までの行路や旅のしきたりなどについて知ることのできる興味深い史料です。解説筆写とされたことや詳細な註も読者にとって大変ありがたいものです。

終りにあたり事務局では、定期刊行を目指すことにより充実した内容にするため、皆様方の玉稿が一片でも多く寄せられますよう会員諸氏のますますのご健闘を期待しています。

(真野)

平成十六(二〇〇四)年五月二五日 印刷
平成十六(二〇〇四)年五月三〇日 発行

大分県地方史 第一九〇号

編集者 真野和夫

発行者 豊田寛三

印刷者 廣永晴巳

印刷所 有限会社舞鶴孔版

〒八七〇一〇〇三二

大分市大手町二丁目三一四

(☎〇九七―五三二―四三三二)

発行所

〒八七〇一―二二四

大分市旦ノ原七〇〇

大分大学教育福祉科学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・〇一五八〇―二一五二九四)

事務局

大分県先哲史料館

〒八七〇一〇八一四

大分市大字駄原五八七一

(☎〇九七―五四六―九三八〇)